



晴天に恵まれた花香遊

柳井市観光協会 松岡 かずみ



昨年(チラシ配り)の3月に柳井市観光協会に勤務して初めての花香遊は、終日雨でしたので、来場者数も1000人と少なかつたです。勤務したばかりで、ほぼ当日のお手伝い(チラシ配り)しか出来なかつた私でした。今年(チラシ配り)としては2回目の花香遊で、早い段階から出店依頼や会場をお借りするお願いなどの準備も出来、一通りの流れがやっと分かりました。

第百弐号
柳井市白壁の町並みを
守る会
事務局(皿田治)
TEL 090-1012-4204

咲き初むる着物の華

は3000人でした。花と香りをテーマに、歴史ある町並みをそぞろ歩き、古の風情を体感していただく趣旨でキャッチコピーは

着物特典も毎年恒例ですが、お着物で来場の方に、花香遊会場でのみ使用出来る通貨の「花百もんめ」をお一人につき三百円分配布しました。

今年はそれにプラスして、切花のプレゼントもありました。大人も子供も皆様とつても喜ばれて、「ありがとう」と言っていたいただき嬉しかったです。

観光協会や花香遊部会・学生ボランティアも着物やはつぴで来場の皆様をお迎えました。

イベントでは、お香遊び・十三参り・お茶席・かるた大会・松島詩子の名曲を歌う会・平原先生の特別講演など、どこも大盛況でした。

飲食・物販も行列のできていたお店や、完売になったお店もあり、一五一八の大福やCERESO(セレスソ)の自然薯唐揚げ、やまぐちフラワーランドより花の苗や切花の販売など、新しく出店していただきました。

前日の準備は、学生ボランティアさんに白壁の町並みの軒下にのれんを付けていただき、当日は看板の設置など、花香遊部会の皆様・学生ボランティアさん・その他ご出店者様、お住いの皆様のご協力もあり、おひなさま巡りスタンプラリーやイベントもスムーズに行うことが出来ました。本当にありがとうございました。

来年は、もっと多くのお客様に終日楽しんでいただけるようお住いの皆様への交通規制の周知徹底やイベントの工夫をしていかなければと思っておりますので、ご協力どうぞよろしく願います。



当日参加の学生ボランティアの皆さん

二日間手伝っていただいた学生ボランティア
(柳井高校、柳井商工高校、柳井学園高校、柳井中学校)

「第二十五回商都柳井おひなさま巡り」
を終えて

泉 裕子

今日は4月1日。令和7年度の始まりの日です。例年になく肌寒い日が続いていますが、誓光寺やさくら土手、茶臼山などには桜が咲き、春の訪れを感じます。



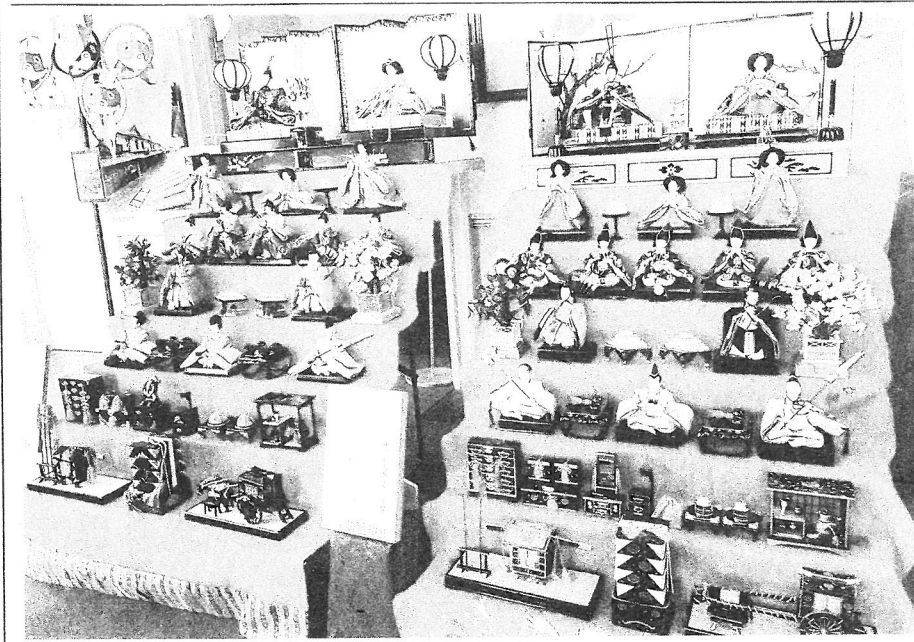
さて、2月4日から先月30日まで、白壁の町並み周辺では「おひなさま巡り」が開催されていきました。ここ柳井市町並み資料館でも、大正、昭和、平成のお雛様が飾られており、期間中は、来館されたお客様の目を楽しませてくれました。

昨日、31日月曜の休館日は、守る会の有志でお雛様を片付ける日でした。2ヵ月か月間、優雅な姿で魅せてくれたお雛様や調度品に感謝の思いを込めながら、ひとつひとつ丁寧に紙に包んで箱の中に納めました。

当然、2月の初めには飾りつけをします。その時は、実は「頭の体操」です。土台となる段の組み立ては、まるで難しいパズルを解くかのように、しばし考えることとなります。ようやく組み立て終わったら、緋毛氈を敷き、次には写真を見て確認しながら、男雛、女雛、三人官女等、配置していきます。男雛には、立纓冠(りゅうえいかん)を、女雛には、釵子(さいし)を、三人官女には……。作業は続きます。2時間近く経った後、町並み資料館内は、とても華やいだ雰囲気になりました。

お雛様を通して、お客様との会話から

も様々なことを知ることができました。京都では、今も男雛は向かって右側に飾られること、「怒る」「泣く」「笑う」のお顔をした三人仕丁が手にしているものは関東風、京都風とで違う(関東風:台傘、沓台、立傘、京都風:箒、熊手、ちりとり)ことなど、お雛様に関するうんちくが増えるのも、ご案内する楽しみとなりました。



第二十五回 商都柳井

スタンプラリー開催

今年もおひなさま巡りの季節がやって来た。会員の老齢化とともにスタンプラリーの受付の設置作業が体力的に負担となっていたのだが、ここ数年は観光協会と学生ボランティアさんのお蔭で大変楽になった。数年前までは琴陽さんから二トンを借りて長テーブル四台、椅子十脚、テント一張りの運び込みおよび



お花を渡す学生ボランティア



盛況のスタンプラリー会場

撤収作業が大変だったが今年運搬はすべて観光協会が手配してくれるし、簡易テントも学生ボランティアがあつと云う間に立ててくれた。さすがに若いっていいなと羨ましくなる。

ところで実は直前になってスタンプラリーのスタンプが三カ所不足していることが判明した。二ヶ所のスタンプは予備のスタンプで対応することとしたが、なんとしたことか我が家のスタンプが見つからない。が、予

備のスタンプはもうないし消しゴムを買って来て今晩中に作ろうかと思案しているとはつとひらめいた。昨年回収作業をした段ボールの中に我が家のスタンプだけはどうせ来年も使うのだからと車の中に残しておいたのではないかと気が付き土壇場で発見、事なきを得た次第。朝の薬を飲んだかどうか昼には分からなくなってきた今日この頃。一年前のことを覚えているわけがないのでした。

昨年より松島詩子の名曲を歌う会と同時開催となったためスタンプラリーの受付本部の人員が半減したが学生ボランティアさんのお蔭でなんとかこなせると思っていたところあにはからんや。学生さんは昼食タイムで受付離脱。交代の午後組は一時から。その間約一時間、忙しいのなんの、ひとりぼっちの受付本部運営となったのであります。

来年困らないように回収したスタンプはすべて町並み資料館で一括管理、昼食タイムにはせめて一人は時間差でボランティアを残しておいてくれるよう武居幹事お願いします。今年の反省でした。

柳井の地図絵図

岸田稔明

第四十五回 大日本帝国陸地測量部発行 二十万分一帝国図「松山」

(昭和十四年修正)

今回は、大日本帝国陸地測量部発行二十万分一帝国図「松山」を取り上げる。

二十万分一帝国図は、明治三十四(一九〇一)年、五万分一地形図を基図として輯製(しゅうせい)二十万分一図の改編集が開始された。地形は、等高線にくんせん(ぼかし)を併用した表現となっている。

二十万分一帝国図「松山」は、大正五(一九一六)年に製版された。カラーの地図で、当時の柳井町の大半が掲載されている。

今回取り上げる地図は、昭和十四(一九三九)年に修正、昭和十六(一九四一)年七月三十日に発行されたものである。



この地図で特筆されるのは、大畠と柳井港間の鉄道沿いに「柳井線」と記入があることである。

明治三十(一八九七)年に山陽鉄道の広島と徳山間が開通し、後に国

鉄の山陽本線となったが、昭和九(一九三四)年十二月一日に岩徳線が開通して山陽本線となり、麻里布駅(現岩国駅)と櫛ヶ浜駅間の沿岸線は「柳井線」という支線となった。岩徳線の完成に伴い、沿岸線が支線となるのを憂えた柳井町は、数年前から沿岸線の擁護運動を行っていた。沿線の関係市町や各種団体長は、柳井町で会合を開き、協議の結果、昭和九(一九三四)年四月十三日、運転系統を変更される場合は、①急行列車を二往復運転すること、②下関東京間の旅客、貨物列車を少なくとも半数以上沿岸線を走らせること、③短距離間運転列車を従来と大差ない運転回数とすること、④瀬戸内の風光明媚の箇所であることを考慮することを、鉄道当局に陳情した。

しかし、鉄道当局はその主張を採用しなかったため、柳井町と柳井町議会は昭和十(一九三五)年八月九日、柳井線を山陽本線に戻すことや、複線工事を速やかに完成させることを望む旨の意見書を提出した。その理由の概要は、次のとおりである。

「複線化工事の完成が昭和五(一九三〇)年の予定であったのに、財政上の都合で由宇駅と柳井駅間と岩田駅と虹ヶ浜駅(現光駅)間の工事が中止となっている。この区間のみ単線であり、交通運輸上不便、不利甚だしく、放置されているのは遺憾である。県下屈指の商業地や、移民の島である大島郡を結ぶ柳井駅や柳井港駅を有する特殊な地勢に伴い、海陸交通量は多い。一方、岩徳線は梅雨時に多大な損害を受け、列車運

転に支障があるため、便宜上柳井線を通じての現象が出ている。旅客物資の交通運輸量、列車事故の面から、瀬戸内海の景勝の変化に富む柳井線を、従前のように山陽本線に改定し、単線区間の複線施工を速やかに完了することを望む。」

【大日本帝国陸地測量部発行二十万分一帝国図「松山」の一部(昭和十四年修正)を拡大】
※大畠と柳井港間の鉄道沿いに「柳井線」とある。



商都柳井の歴史その廿六

松島 幸夫

商人たちの心(十一)

篤き信仰心と菅原天神社

柳井には、なぜ菅原天神社があるのでしようか。菅原道真が左遷をされて京都から九州の大宰府へ赴く際に柳井津に立寄ったことに因むと言われることがあります。が、事実は違います。

元禄2(1685)年に豪商であった貞末宗故(「きじや」の店主)が大阪の天満宮に参拝した際に、下駄の歯に天神像が挟まったそうです。信仰の対象である小さな天神像がなぜか参道に転がっており、下駄の歯に喰い込んだのです。「これは天神様のお告げに違いない。柳井津に連れて行って祀ってほしいと、道真の霊が思われているのだらう」と直感し、その天神像を大切に持ち帰りました。優しい人柄が感じられます。そして姫田川横の普慶寺の境内に祠を創って、安置したのです。大阪天満宮は商売繁盛の御利益があることで有名ですが、



ら、柳井津の商人たちも普慶寺の菅原天神社に商売繁盛を願って足繁く参拝しました。ところで現

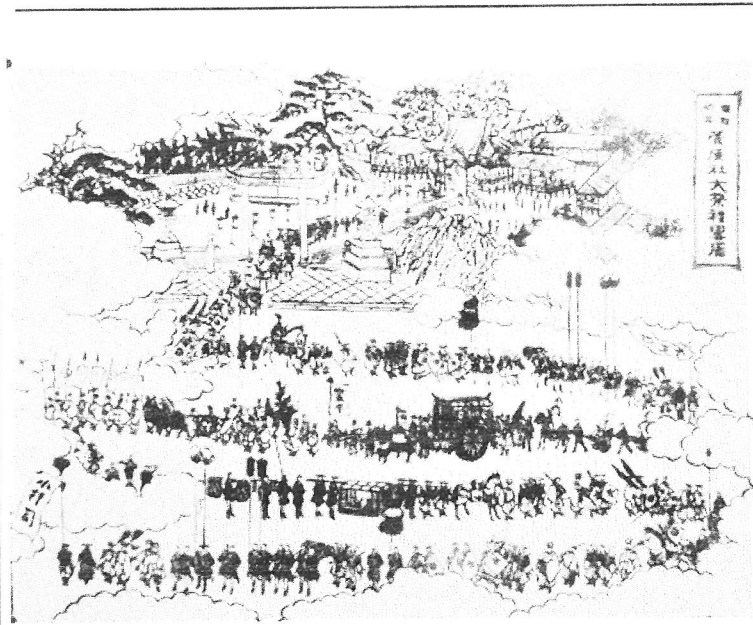
在、柳井の菅原天神社は新市の通りに面して建っています。普慶寺境内にあったものが、どのような理由で現在地へ移されたのでしょうか。新市の人たちの篤い信仰心が引き寄せたのでしょうか。たしかに信仰心もあつたでしょうが、信仰心に加えて、商売繁盛が動機でした。

姫田川の東岸から海に向かって土手を突き出し、片野川の西岸からも土手を突き出して沖で結びつけて貞享3(1726)年に中開作ができました。海が稲田になったのです。そして山の麓(山根地区)に添って通っていた街道に代わって、中開作を一直線に突つ切る街道ができます。今の新市通りです。旅人にとっては、距離が縮まり便利になりました。柳井津町内に店をもてない新興商人が、新たな街道の両脇に商店街を造り始めました。ところが期待したほどに、商品が売れないのです。街道を通る旅人だけを相手にする商売では、店が成り立ちません。思案した結果、商売繁盛するためには神社の門前町になればよいということになりました。目をつけられたのが、菅原天神社です。普慶寺の境内から、現在地へ移転をさせることになったのです。

社殿を建てると、近郷の住民が多数参詣に訪れ始めました。学問の神様として寺子屋で勉学に励む者たちがやってきたのでしようか。いやそれだけではなく、農業の神様として、農民たちが参詣したのです。しかしなぜ学者である菅原道真が、農業の神様なのでしょう。道真の出世を憎む藤原氏が、道真を大宰府に追放しましたが、都では落雷が多く、不吉

な世に陥りました。落雷は藤原氏の邸宅も襲いました。天地を引き裂くような雷光と轟音に、貴族たちは恐れおののきました。頻発する落雷は、道真の祟りだとの噂が広がりました。貴族にとつては恐ろしい雷ですが、農民にとつては雨をもたらす幸運な雷なのです。日照り続きでは稲はできません。雷とともに雨が降ると、稲がよく育つのです。菅原天神は、農業の神様にもなったのです。

やがて祭祀にあたつては、御神行が行われるようになります。さらには御神行に大名行列が花を添え、賑わいが増していききました。武士のいない柳井で、なぜ大名行列が始まったのかは、次回に紹介



菅原天神社大祭の盛況

資料館便り

『第十二回松島詩子の名曲を歌う会』

山近絹代

昨年から「松島詩子の名曲を歌う会」は、花香遊のイベントの一つとして開催されるようになり、今年は三月九日に例年通りゲストに歌手の谷本耕治さんをお迎えして開催されました。

昨年はキャパを考慮して二回公演となりましたが、今年は十三時三十分からの一回公演でした。

来場者はマロニエの咲く頃に開催していた頃の半分以下でしたので寂しさは否めませんでした。そんな中、谷本さんのファンの方が、福岡県糸島市からお越しになっていたのに、なぜか心が救われました。

会は例年通り、「谷本耕治による松島詩子の名曲コーナー」「一緒に歌おうコーナー」「谷本耕治オンステージ」と続き、最後に「りんごの歌」を皆さ

んで歌ってお開きとなりました。

松島さんのご息から送られたお花を今年も皆さんにお持ち帰り頂き、喜ばれていました。

合間に、キングレコードの方がアイア通信の取材に二度も東京から来られ、記念館が存続され「歌う会」が開催されていることを誉めて下さった事や、YouTubeで松島さんの歌を知られ、東京から来られる方がある事。又NHKから電話があり「トットちゃんの宝物NHK一〇〇周年」で黒柳徹子さんが松島さんの事を話される事などをMCさせて頂きました。

歌手の谷本さんは今年もご縁を大切に来てくださり、楽しく盛り上げられ、「来年も来たい！」とおっしゃっていました。

ピアノの宮本陽子さん、シンセサイザーの角田ゆうさんにもご出演頂き、皆さんの「お心」で今回も開催することが出来ました。感謝です。ご協力頂いた皆様に心よりお礼申し上げます。

【編集後記】

★山近絹代副会長の記事にもあったように今年も松島詩子さんのご子息内海輝夫さんより歌う会の聴衆にお花のプレゼントをいただいた。初回から12回連続だ。10周年記念の折には東京より参加を予定されていたがコロナ禍で歌う会が中止となったりその後体調を崩されたりで実現できず残念がられておられる。内海さんと共に昨年よりライブのPA係とビデオ撮影をボランティアで勤めていただいた森田正和さんに心より感謝申し上げます。

★地球温暖化のせいか世界中で大雨、干ばつ、山火事など大災害が頻発している。日本でも山火事の発生が続きびっくりしたが、そう云えばここ柳井でも数十年前に琴石山の近くで山火事が発生し二日間近く燃えていたことを思い出した。このまま便利で快適な生活を続けていて果たして地球は大丈夫なのか？百年後も人類は存在しているのか僕的には疑問である。皆さんどう思います？ (事務局 皿田)

令和6年度第4四半期 柳井市町並み資料館入館者数

	令和7年/1月~3月	令和7年3月現在累計
町並み資料館	3,726	342,212
	前年同期比 82.5%	
松島詩子記念館	872	118,585
	前年同期比 90.5%	